



主題名 権利と責任

教材名 私たちが築く、私たちの学校生活 〈権利と責任〉
 (参考資料/グラハム・バイク、ディヴィット・セルビー共著/中川喜代子監訳
 平岡昌樹訳「ヒューマン・ライツーたのしい活動事例集」明石書店)

人権学習の視点 人権の意義「普遍的な視点」

主題・教材について 権利は、生徒たちにとってはなじみ深い言葉であるが、権利が利己的な欲求から主張され、それが無批判に受け入れられるなど、権利の概念についての認識が不十分である場合が多い。権利を行使するには、義務や責任が伴うことをグループ学習を通して理解し、互いに責任ある態度で学校生活を送ることが大切であるということを理解させたい。更に、そのことが社会生活における権利・義務の概念につながっていることを理解させたい。

ねらい

「権利を得る、自由を認められる」ためには、必ず「責任・義務」を果たす必要があることを理解し、互いの権利が守られた学校生活を送るために「責任・義務」を果たしていこうとする態度を養う。また、そのことが社会生活における権利・義務の概念につながっていることを理解する。

本時の展開

過程	指導内容	形態	主な学習活動	指導上の留意点	教材・教具
導入	○権利、義務とはどのようなことを指すかを考えさせる。	一斉	○権利、義務とはどんなことを考える。	○「権利ってどんなこと?義務ってどんなこと?」と、これまで自分なりに捉えてきた言葉の意味を自由に出させる。	
<p>みんなが楽しく充実した学校生活を送るために、どんなことが必要だろうか。</p>					
展	○一人一人が責任を果たすことによって、自分たちが望むことが実現されるということに気付かせる。	グループ	○P.15掲載の「私たちが望む学校生活」カードに対応する「一人一人が果たす責任カード」を友達と話し合いながら選ぶ。	○複数のカードが対応することもあることを伝える。 ○望むことと責任は表裏一体であることを確認する。 ※発達障害のある生徒がいる場合等、学級の実態に応じて配慮すること。	※カードを切り分けて使用する場合は、CDにP.15と同時のがある。ワークシート項目①
	○望むことを実現するためには、責任を果たすことが大切であることを理解させる。	一斉	○責任カードを取り除いたら、望むことはどうなるかを想定してみる。		
<p>私たちが将来もつ様々な権利には、どのような責任が伴うだろうか。</p>					
開	○様々な権利には、必ず責任が伴っていることを理解させる。	グループ 一斉	○自分たちの知っている様々な権利について、それがどのような責任を伴うのかを考え、意見交流する。例:「選挙権」「結婚する権利」など	○権利を有することには年齢や発達・能力に応じた責任を果たすことが必要であることをおさえる。	ワークシート項目②
	○望む学校生活(権利)を実現するためには一人一人が責任を果たさなければならないこと、またその原理は、社会生活においても当てはまることを理解させる。	一斉	○一人一人が責任を果たすことで、望ましい学校生活が送れること、社会的責任を果たすことによって社会的権利を有することができることなどを自分の言葉でまとめる。	○みんなが楽しく充実した中学校生活を送るために、一人一人が責任を果たすことが必要だという考え方は、社会生活における「権利と責任」においても通じる理念であることを確認する。	ワークシート項目③
まとめ					

評価

互いの権利が守られた学校生活を送るために、自分の責任を果たしていこうとする態度を養うことができたか。また、そのことが社会生活における権利・義務の行使につながることを理解することができたか。

